

平成30年第1回狭山市定例教育委員会会議録

開催日時 平成30年1月25日(木)  
午後3時4分から午後3時39分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄  
教育長職務代理者 吉 川 明 彦  
委 員 橋 本 秀 樹  
委 員 宮 崎 英 子  
委 員 後 藤 邦 江

欠席者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	滝 嶋 正 司	次長兼教育総務課長	杉 田 幸 伸
社会教育課長	田 中 肇 夫	中央図書館長	奥 富 悟
スポーツ振興課長	五十嵐 和 也		
学校教育部長	井 堀 広 幸	書 記	吉 澤 俊 充

傍聴者数 0名

報告事項

- ・第64回狭山市成人式の結果について

報告者(社会教育課長)

(要旨)

平成30年1月7日(日)に狭山市市民会館大ホールを会場に挙行了。該当者は1,444人で、出席者は948人、出席率は65.65%で前年度より低下した。オープニングは前回までの中学校恩師からのビデオメッセージの上映に替え、20代で夢を叶えたまたは夢にむかって取り組んでいる狭山市在住、出身の8名の方からのインタビュービデオを上映した旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、出席率など前年を下回ったということであるが、このことについて今後の考えはとの質疑に、新成人の主張の発表者からSNS等を使用し、より積極的に対象者に情報を発信するなど、呼びかける方策を講じる必要があるのではないかというアドバイスをいただいた。若い人たちのネットワークを活かし、積極的に情報発信をしていきたいと考えている旨の答弁がなされた。

ビデオメッセージには、夢をかなえる途中の方でもいいかと思う。また、新

成人の主張では、できれば、今夢に向かって仕事を頑張っているとか、多種多様な方たちから、また、会場にいる人たちにインタビューをするということでもよいのではと思う旨の意見がなされた。

・おりぴいリンクの開設期間延長について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

人工スケート場おりぴいリンクの開設は、平成29年10月1日から平成30年1月28日までと予定をしていたが、3月31日（土）まで延長する旨の報告がなされた。

・平成29年度教育委員と転入職員との懇談会のまとめについて

報告者（学校教育部長）

（要旨）

他市から転入してきた教員の狭山市の感想、意見では、狭山市のいいところについては、「子どもが大変素直である」、「英語教育が充実しており小学校1年生から英語活動を行っているところ」、学校予算については、「非常に使う自由度が高い」、ICTについては「大型テレビがパソコン1台ですぐ利用が可能であり、授業をする環境として大変整っている」といったことが挙げられたが、「タブレットや小学校のパソコンの台数等さらに充実を」という意見もあった。また、「給食費の公会計化」、「第2土曜日の土曜授業を夏休み等に変えても良いのではないかと」といった意見があった旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、資料に校名と名前が出ているが、校長会へ報告するのであれば匿名のほうが良いのではとの質疑に、信頼関係の部分もあるので、今後検討する旨の答弁がなされた。

・各種審議会等の会議結果概要について

報告者（社会教育課長）

（中央図書館長）

（要旨）

平成29年度第4回狭山市社会教育委員会会議及び平成29年度第2回狭山市立図書館協議会について、その概要の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、社会教育委員会会議について、「地域コーディネーターの役割について」、さらに、「育成についてのグループ討議」とあるが、育成についての意見はあったのかとの質疑に、社会教育委員の任期が今年4月までとなっており、社会教育委員会会議では、「地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組みについて」の提言を取りまとめるために現在議論しているところで、その中で、育成については市民大学のカリキュラムの中で養成講座を開催したり、または、退職教員の方に地域コーディネーターとして関わるような仕組みづくりが必要であるといった意見をいただいている旨の答弁が

なされた。

- ・ 狭山市教育委員会後援名義の使用行事一覧について

報告者(学校教育部長)

(要旨)

教育指導課関係 4 件の申請があり、審査の結果、使用許可を行った旨の報告がなされた。

以 上